

第3学年1組

道徳の時間学習指導案

場所 3の1教室 指導者 本郷 一毅

1 主題 未来の地球のために 4-(10) 国際理解, 人類愛
資料 「リオの伝説スピーチ」 出典 岡崎市環境学習プログラム

2 本時の目標

- (1) セヴァン・スズキさんの言動について考えることにより、環境を守ることの大切さに気づくことができる。
- (2) 環境を守るために、自分ができることをしていこうとする思いを高めることができる。

3 環境学習としての学びの視点と探究学習を支える手立て

環境サミットに集まった世界の指導者たちを前に、12歳の少女が語った「リオの伝説スピーチ」。この少女の行動を考えたり、思いに共感したりすることによって、自分自身も何かできることから始めたいという思いを高めるきっかけにしたい。

本時の活動5では、ワークシートに書かれた生徒の意見を事前に把握し、話し合いがより深まるように指名順を考える。

4 展開

段階	生徒の活動	教師の活動
導入 (5)	1 リオの伝説スピーチの概要について理解する。	・写真やDVDを用いて、セヴァン・スズキさんとリオの伝説スピーチについて説明する。
問題 (10)	2 資料の範読を聞き内容を把握する。 3 本時の学習課題をつかむ。	・資料を読み、生徒の様子を観察する。 ・本時の学習課題を説明する。
	スピーチをし、行動を起こしたスズキさんの気持ちについて考えよう	
展開 (27)	4 スピーチをするセヴァン・スズキさんの気持ちについて考え、話し合う。 ・「オゾン層や森をよみがえらせる方法を知らないでしょう。」と言うときの気持ち ・ブラジルのストリートチルドレンを目の当たりにしたときの気持ち 5 スズキさんが、どんな気持ちからこのような行動を起こしたのかを考え、話し合う。 ・環境を直す方法がないことを分かってほしい ・世界には苦しんでいる子供がたくさんいることを知らせたい ・政治家の人たちを動かしたい ・とにかく自分ができることをしよう	・資料のどの場面について聞いているのか、はっきりさせてから発問する。 ・他の生徒と自分の意見との類似点や相違点を明確にして発言できた生徒を称賛する。 ・発言の要点を整理しながら板書する。 ・板書を色チョークで強調するなど、スズキさんが、世界のみんなが幸せに暮らしたいと強く願っていることを明確にする。 ・「どのような気持ちから、スズキさんはこのような行動を起こしたのだろう」と発問する。 ・ワークシートを配布し、机間観察をしながら生徒の考えを把握する。 ・考えを書けないでいる生徒には、スズキさんが、スピーチの機会を得るまでにしてきた努力を思い出すように助言する。 ・予め生徒の発言を予想しておき、道徳的価値が高まっていくような話し合いになるように、指名順を考える。 ・生徒の意見を分類しながら板書し、友達のことを確認しやすいようにする。
整理 (8)	6 スズキさんのスピーチの内容や行動をどう思うかを発表する。 7 授業の感想を書く。	・「すごい」、「偉い」という発言が出たときは、その理由を聞く。 ・板書を振り返らせ、スピーチの内容ではなく、話し合いを終えての感想を書くように指示する。

5 評価

- (1) スズキさんの強い思いや行動に触れ、環境を守ることが、世界全体の幸せにつながることに気づくことができたか。
(活動4, 5, 6の発言、活動5の記述から)
- (2) 地球の未来や、人々の幸せのために、自分が行動しようとする気持ちを高めることができたか。
(活動5の記述・発言、活動6の発言、活動7の記述から)